

日本の最先端工業技術が TPP の脅威から 日本の農業を救う！～養殖技術へも活用

今般、本技術を開発したマジマ研究所(代表 眞島 修)殿と、JIFAS が開発した閉鎖循環式陸上養殖システムを、更にレベルアップすることを目標に、共同研究を開始しました。

本稿では農業用に開発した、本技術の概要を紹介します。

図解の数字と対応した解説を参照

① 世界初デジタル化全自動植物栽培装置

あらゆる植物の栽培に合わせたプログラムをインストールでき、完全自動栽培やリモートコントロールが可能。

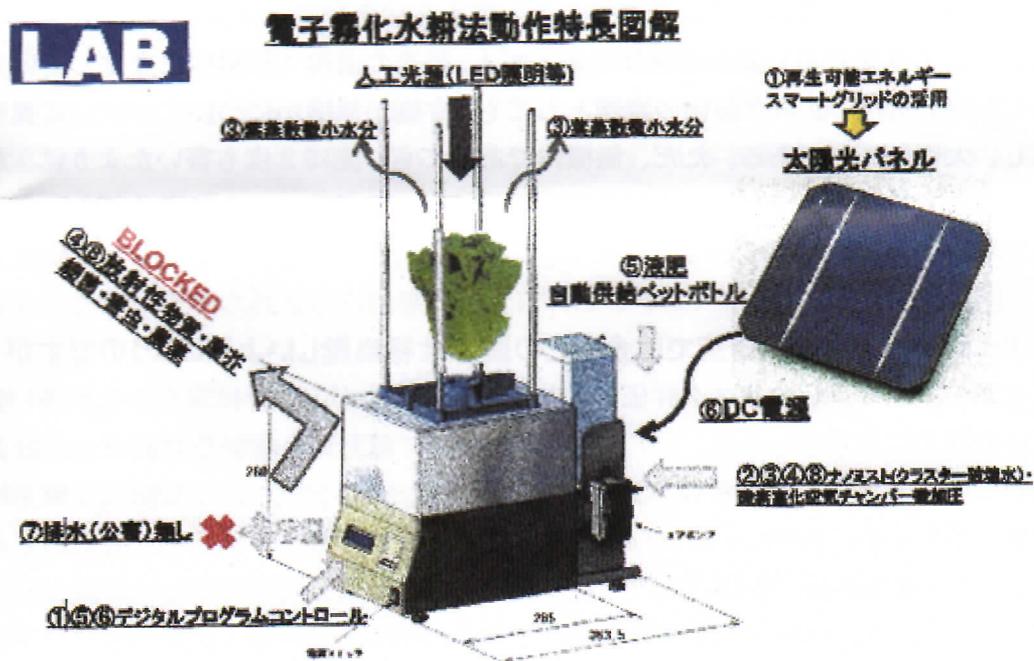
② 3倍以上の超促成栽培

クラスター破壊数のナノミストで根からの液肥の吸収を促進し、植物の急速な成長を助ける。

③ 驚異的な小水資源で砂漠地帯でも可能な植生プラント。

極小の水資源で栽培可能であり、通常の露地栽培の 1/5 以下の水供給。

一般水耕法の 1/10 以下の液肥で殆どの植生の栽培が可能。さらに、連作が可能。



Planned and Written by Osamu Majima 眞島 修

(最終頁へ続く)